授業科目名	専門演習Ⅰ・a	科目コード	G3503P05
英文名	Major Seminar I a		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合

職名	教授	担当教員名	大谷 孝行
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	3限目
開講時期	3年前期	授業の方法	演習
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	このゼミでは、４年次での卒論執筆と就職活動を見据えて、物事について深く考え自分で調べる習慣をつけるとともに、他者とのコミュニケーション能力全般を高めることを目標にします。ゼミの進め方としては、「LTD話し合い学習法」の方法を取り入れて実施し、課題に基づいたディスカッション形式でゼミを運営します。				
キーワード	①LTD話し合い学習法	②予習ノート	③ミーティング	④	⑤
到達目標	①学習課題の理解を深め、特に環境倫理学の立場から考えた自分の意見を表明することができる。				
	②ディスカッション・スキル、対人関係スキル、仲間意識を向上させ、他者と適切な交流をすることができる。				
	③論理的思考能力を高め、他者に対して自分の考えを筋道立てて伝えることができる。				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	4.社会人としての能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	⑧環境デザインに関する専門性の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
◎	◎			

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ	授業外学修指導・自主活動
	◎	◎			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期オリエンテーション 各自、自己紹介をする。３年次の過ごし方を考える。学期の目標を立てる。履修指導。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	「LTD話し合い学習法」(1) 「LTD話し合い学習法」についての説明。	
	【予習】	
	【復習】配付プリントを読んでおく。	40分
第3回	「LTD話し合い学習法」(2) 予習ノートを作成する(1)。	
	【予習】LTD学習法に沿った予習ノートの作成。	40分
	【復習】	
第4回	「LTD話し合い学習法」(3) 作成した予習ノートに基づきミーティングを行う(1)。	
	【予習】各自、ミーティングのリハーサルをしておく。	40分
	【復習】	
第5回	「LTD話し合い学習法」(4) 予習ノートを作成する(2)。	
	【予習】LTD学習法に沿った予習ノートの作成。	40分
	【復習】	
第6回	「LTD話し合い学習法」(5) 作成した予習ノートに基づきミーティングを行う(2)。	
	【予習】各自、ミーティングのリハーサルをしておく。	40分
	【復習】	
第7回	「LTD話し合い学習法」(6) 予習ノートを作成する(3)	
	【予習】LTD学習法に沿った予習ノートの作成。	40分
	【復習】	
第8回	「LTD話し合い学習法」(7) 作成した予習ノートに基づきミーティングを行う(3)。	
	【予習】各自、ミーティングのリハーサルをしておく。	40分
	【復習】	

第9回	「LTD話し合い学習法」(8) 予習ノートを作成する(4)。	
	【予習】LTD学習法に沿った予習ノートの作成。	40分
	【復習】	
第10回	「LTD話し合い学習法」(9) 作成した予習ノートに基づきミーティングを行う(4)。	
	【予習】各自、ミーティングのリハーサルをしておく。	40分
	【復習】	
第11回	「LTD話し合い学習法」(10) 予習ノートを作成する(5)。	
	【予習】LTD学習法に沿った予習ノートの作成。	40分
	【復習】	
第12回	「LTD話し合い学習法」(11) 作成した予習ノートに基づきミーティングを行う(5)。	
	【予習】各自、ミーティングのリハーサルをしておく。	40分
	【復習】	
第13回	「LTD話し合い学習法」(12) 予習ノートを作成する(6)。	
	【予習】LTD学習法に沿った予習ノートの作成。	40分
	【復習】	
第14回	「LTD話し合い学習法」(13) 作成した予習ノートに基づきミーティングを行う(6)。	
	【予習】各自、ミーティングのリハーサルをしておく。	40分
	【復習】	
第15回	学期の振返り。夏休みの過ごし方を考える。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】ゼミ中に提出してもらう予習ノートと、ゼミ中に実施するディスカッションに基づいた評価をします。 到達目標１については、予習ノートを中心に評価します。(60%) 到達目標２と３については、ゼミ中に実施するディスカッションを中心に評価します。(40%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 欠席厳禁。	

評価方法	ゼミ中に提出してもらう予習ノートと、ゼミ中に実施するディスカッションに基づいた評価をします。 到達目標１については、予習ノートを中心に評価します。(60%) 到達目標２と３については、ゼミ中に実施するディスカッションを中心に評価します。(40%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 ②社会性:40%、③専門性：60%

使用資料 ＜テキスト＞	授業中に指定します。	使用資料 ＜参考図書＞	授業中に随時指定します。

授業外学修等	予習ノートを事前に完成させてから、ミーティングに参加することが必須です。
授業外質問方法	オフィスアワー等を利用して、直に質問をしてください。
オフィス・アワー	月曜日３限、324研究室。